

市長と語る若者会議

～若者に魅力ある松山にするために～

第6次松山市総合計画の策定に向けて

《報告書》

平成24年2月

松山市

1. 市長と語る若者会議とは

■開催の目的

- ・ 高校生や大学生の視点から「今の松山市」の魅力や課題を把握するとともに、「若者に魅力あるまち」、「若者が住み続けたいと思えるまち」となるための意見やアイデアを出し合っていたため、若者会議を開催しました。
- ・ 検討成果については、新たな総合計画の策定に活用します。

■参加者

- ・ 高校生14名、大学生16名（合計30名）
- ・ 参加者の募集は、松山市から各学校に依頼するとともに、市ホームページで募集しました。

■開催概要

[実施日] 平成23年11月23日（水・祝） 13:00～15:30

[開催場所] シュロス日銀前ビル 4階第1会議室

[開催プログラム]

1. 開催趣旨について
 - ・ 市役所の仕事とは？
 - ・ 第6次松山市総合計画の策定趣旨・スケジュール
 - ・ 若者会議の開催趣旨
2. 参加者、事務局の紹介
3. 本日の進め方の説明と“心ほぐし”
 - ・ 話し合いの進め方
 - ・ 3つの約束（共聴、共創、共働）
 - ・ 心ほぐし
4. みんなで語ろう！「若者に魅力あるまち、住み続けたいと思うまちにするために」
 - ①松山の「好きなところ」「なんとかしたいところ」
地図を見ながら、「好きなところ」「なんとかしたいところ」を話し合いました。
 - ②松山を若者に「魅力あるまち」「住み続けたいまちに変えるアイデア」
松山を楽しくするアイデア、高校生・大学生として取り組んでみたいことについて、4班（高校生2班、大学生2班）に分かれて話し合いました。
5. 発表
6. 講評
 - ・ 市長の講評と記念撮影

■開催概要

開会あいさつの後、市役所の業務や第6次松山市総合計画、若者会議の開催趣旨についての説明を行い、若者会議の目的について共有しました。

参加者、事務局の紹介の後、若者会議の進め方や話し合いでの3つの約束について説明をしました。話し合いに入る前に、「心ほぐし」として、松山市にちなんだクイズがあり、和やかな雰囲気になりました。

その後、4つの班に分かれて、松山市の地図で学校の場所や自宅、よく訪れるお気に入りの店・スポットなどを共有しながら、松山の「好きなところ」「なんとかしたいところ」を話し合いました。

意見交換の後半では、若者の視点から、松山を「魅力あるまち」「住み続けたいまち」にするためのアイデアを話し合いました。話し合いの輪には、市長も加わり、高校生や大学生との意見交換が活発に行われるとともに、市長から市政の方向性などについて紹介がありました。

意見交換の成果について、各班から発表があり、それぞれの発表に対して市長からのコメントがありました。最後に市長から講評があり、その後、市長と参加者として記念撮影をして閉会となりました。



▲心ほぐし（松山市にちなんだクイズ）



▲高校生A班



▲大学生A班



▲高校生B班



▲大学生B班

2. 各班からの発表内容

(1) 高校生A班

①松山の「好きなところ」「なんとかしたいところ」

「好きなところ」としては、

自然が豊かで山や川がきれい、食べ物がおいしいというところ。道後地区の景観が好きというところ。まちなかの城山公園の自然が好きというところ。優しい人が多く、みんなのんびりしているところ。歴史では、俳句などのいろいろな偉人がいるというところがあげられました。

「なんとかしたいところ」としては、交通、進学・就職、楽しめる場所、観光、商店街、地域のつながりがあげられました。

交通では、自転車で走りにくい道が多いこと、公共交通機関が少なく料金が高いことがあげられました。観光では、松山には良いところがたくさんあるのに、それをアピールできていないため、もっと観光客を増やせば良いと思いました。楽しめる場所というのは、私は野球をしていましたが、キャッチボールやサッカーなどスポーツや球技ができる場所が少ないため、そういう場所を作ってほしいと思いました。商店街については、まつちかタウンなどの商店街を活性化してほしいと思います。進学・就職については、就職先や進学する大学が少ないということがあげられました。地域のつながりについては、もっと地域とのつながりを大切にしてほしいと思いました。



【好きなところ】

- ◇自然
 - ・自然が豊かできれい
(山、川、海、蛸、鹿、島しょ部)
 - ・気候が温暖で住みやすい
 - ・食べ物がおいしい(魚、しょうゆもち)
- ◇道後
 - ・景観が好き
 - ・景観が整備されている
- ◇まち中の自然
 - ・町の中に緑が多い
 - ・どんぐり、うぐいす
 - ・城山公園(遊べる、緑が多い)
- ◇優しい人
 - ・やさしい人が多い(掃除、席を譲る)
 - ・のんびりしている
- ◇歴史・文化
 - ・歴史が古く、史跡が多く残っている
 - ・俳句に熱心なところ
- ◇その他
 - ・路面電車がある
 - ・俳句が書かれた電車

【何とかしたいところ】

- ◆交通
 - ・自転車で走りにくい
 - ・無料の駐輪場が少ない(商店街)
 - ・公共交通機関の本数が少なく、料金が高い
- ◆観光
 - ・良いところが知られていない
- ◆楽しめる場所
 - ・遊べる場所が少ない
(レジャー施設、ストリートバスケット)
 - ・野球やサッカーができる公園
 - ・下校時に友達と気軽に話せる場所
- ◆進学・就職
 - ・大学、職場が少ない
- ◆商店街
 - ・まつちかタウン(地下街)に好きな店がなくなってきた
 - ・銀天街が暗い
- ◆地域のつながり
 - ・もっと地域とのつながりが持てるとよい
- ◆その他
 - ・公園が不良のたまり場になっている(夜)

②松山を若者にとって「魅力あるまち」「住み続けたいまち」に変えるためのアイデア

私たちは、松山を楽しくするアイデアとして、「観光」「交通」「楽しめる場所」の3つに絞って意見を出していました。

観光については、ホームページ等を利用して、愛媛でまだ知られていない海産物やフルーツなどの名産品や観光地をPRするなど、松山のよさをもっと知ってもらうための情報発信の改善と、旅行会社と一体となって旅行商品ツアーなどを作ることを提案します。また、国際交流から観光に繋げるということで、小学校や中学校での国際交流を活性化することも有効だと思います。



交通については、私たち高校生は、主な移動手段が公共交通機関か自転車になります。自転車専用の道を作ったり、無料の駐輪場をもっと多く作ってもらうことが私たちにとってとても便利になるため、自転車で楽しく移動できるまちを進めるということと、公共交通事業に複数の会社が入ってもらうことで、もっと利用できる公共交通を広げてほしいと思っています。もしくは、現在の事業者さんにもっと新しく路線をつくってもらえるといいと思います。

楽しめる場所については、もっとスポーツを広い場所でしたいという意見がありました。空き地を利用して、スポーツのグラウンドを作ったり、また、商店街の活性化という面で、いろいろな年代に人気のあるショップなどを商店街に新しく入れることが良いと思います。将来の松山では、気軽に行ける、楽しめる場所をもっと増やしてほしいと思います。

【観光】

◎松山の良さをもっと知ってもらう（→情報発信・旅行商品（ツアー））

- ・旅行会社と一体となってツアー形式にする（地域資源の活用）
- ・あまり知られていない名産物をアピールする（海産物、フルーツ）
- ・学生がもっと「松山市」のホームページを見たいと思えるようにする
- ・松山まつりを盛りあげる（若い人が参加）
- ・観光・イベントなど松山に来てくれる機会をふやす
- ・県外からのアクセス手段を充実する（JR・しまなみ）

◎国際交流から観光につなげる

- ・フライブルク市、サクラメント市ともっと国際交流して松山の良さを知ってもらう
- ・小・中での国際交流活動（相互）

【交通】

◎自転車で楽しく移動できるまち

- ・自転車専用の道を作る
- ・明るい道を増やして交通事故を減らす
- ・市の中心部の周りに広い無料駐輪場（商店街の周辺）
- ・中心部に車・自転車を入れない

◎公共交通の改善（料金）

- ・複数の会社に参入してもらい公共交通（鉄道・バス）の料金を下げる
- ・島との船の便を増やす

【楽しめる場所】

◎気軽に行ける場所に楽しめる場所（広場、店など）を増やす

- ・空き地（大規模店の跡地）を利用したスポーツグラウンドの整備
- ・商店街に、いろんな年代に人気のあるショップなどを増やす
- ・電車で少し行った所に子供達がのびのびと遊べる場所があったら良い
- ・商店街に無料休憩所（学校帰りに立ち寄れるところ）

【市長からのコメント】

- ◎松山には大学が少ないという話がありましたが、松山のように大学が4つもあるまちは県内には他にありません。美術系など希望される大学が地元にないないということかもしれません。私自身も大学の時に県外に出ました。県外を経験することも大切なことだと思います。その後、できればふるさとに帰ってきてください。
- ◎情報発信については、松山の人はこちらかというと下手だと思います。松山は気候が温暖で、人も穏やかです。食べ物にも恵まれ、争うことない穏やかな土地であったように思います。そのため、県外の人から見ると「工夫が足りない」と厳しいことも言われたりします。市長に就任して、松山の魅力を総合的にアピールしていくため「都市ブランド戦略課」を作って取り組んでいるところです。
- ◎これほど自転車の話が出てくるとは思っていませんでした。高校生に限らず大人でもマナーの悪い人がいるのでマナー向上に取り組む必要があると思います。これからの松山のまちづくりでは、「歩いて楽しいまちづくり」をしていきたいと考えています。松山の人とは都会の人に比べると歩くことが少ないと思います。これから高齢化が進むなかで、「歩く」ということは健康づくりのためにも大事なことだと考えています。発表を聞いていて、自転車の駐輪対策をしなければいけないと思いました。現在の取り組みを、総合的に組み換えていくことも考えていかななくてはならない時期にきていると感じました。
- ◎ツアーの観光のPRについては、松山は全国の中でも取り組んでいる方だと思います。大手の旅行会社からも松山は注目されています。ますます取り組んでいきたいと思っています。

(2) 高校生B班

①松山の「好きなところ」「なんとかしたいところ」

松山の良いところとして、道後温泉周辺の景観、大街道、銀天街、坊っちゃん列車、路面電車が走っていることなど「まちの雰囲気がよい」こと、「ひめキュン」や、歴史文化がとても多いことなど「多様な文化がある」ことがあげられました。また、コンパクトで便利、交通手段が便利、ノンステップバスが走っているなど「中心部の交通が便利」なこと、犯罪が少なく「治安がよい」こと、愛媛の人々は温かく「人柄がよい」こともあげられました。



なんとかしたいところとしては、「駐輪場が少ない」、「路上駐輪が多くまちの景観が悪い」「もっと自転車専用道路を増やしてほしい」などの意見がありました。また、「カーブミラーを増やしてほしい」、「街灯が少なくて不安なので街灯をもっと設置してほしい」などの意見もありました。また、バリアフリーに関して「駅にスロープを設置してほしい」、郊外は交通が不便なため「電車の便の増加」「バスの路線を広げる」「フェリーの本数を増やす」「電車をできれば空港まで延ばす」などの意見がありました。海に関しては「三津浜などの海が汚いため、もっときれいにしてほしい」、レクリエーションに関しては「スポーツをもっと自由にできるようにしてほしい」「イベントの情報が伝わっていないので人が集まらない」などの意見がありました。また、自習スペースについて、「勉強をする自習スペースが少ない」、進学の実績について、「理系の人は県外の大学を探さなければならない」「薬学部はできたが、就職の実績がないため県外に出る人が多い」「アパレル系の学校が少ないため県外に出る」、就職先について、「建築系の就職は県外に出るしかない」「企業誘致してほしい」「若者を地元に残すために、受け皿を増やしてほしい」などの意見があげられました。

【好きなところ】

- ◇ まちの雰囲気が良い
 - ・ 道後温泉周辺の景観
 - ・ 大街道、銀天街
 - ・ 坊っちゃん電車
 - ・ 路面電車
- ◇ 多様な文化がある
 - ・ ひめキュン
 - ・ 歴史文化が多い
- ◇ 家賃が安くて住みやすい
- ◇ 気候が温暖で住みやすい
- ◇ 中心部の交通が便利
 - ・ コンパクトで便利
 - ・ 交通手段が便利
- ◇ ノンステップバスがある
- ◇ 人柄がよい
 - ・ 人々が温かい
- ◇ 治安がよい
 - ・ 犯罪が少ない
- ◇ 好きな場所
 - ・ 堀之内公園
 - ・ 総合公園
 - ・ 県立美術館

【何とかしたいところ】

- ◆ 駐輪場が少なく路上駐輪が多い
- ◆ 自転車専用道路がない
- ◆ 車がとびだして危険
 - ・ カーブミラーの設置
- ◆ 街灯が少なくて不安
 - ・ 街を外れると暗いところが多い
- ◆ 郊外は交通が不便
 - ・ 電車、フェリーの本数が少ない
 - ・ バスの範囲を増やしてほしい
 - ・ 電車を空港まで延伸してほしい
- ◆ バリアフリー化が進んでいない。
 - ・ 小さい駅にもスロープの設置を
- ◆ 海が汚い
 - ・ 海をきれいに (三津浜など)
- ◆ 若者の楽しみが少ない
 - ・ B級グルメが少ない
 - ・ 楽しいスポットが少ない
- ◆ レクリエーションが少ない
 - ・ スポーツをもっと自由にしたい (無料施設が少ない)
 - ・ イベント情報が伝わっていないので、人が集まらない
- ◆ 自習スペースがない
 - ・ 図書館は使いにくい
- ◆ 進学の実績が少ない
 - ・ 理系は県外大学を探す
 - ・ アパレル系が県内がないので県外に出る
 - ・ 薬学部はできたが、就職の実績がないので県外へ行く
 - ・ 美術系大学がない
- ◆ 業種により就職先がない
 - ・ 建築系の就職は県外
 - ・ 企業誘致してほしい
- ◆ 県外に出るしかない
 - ・ 若者を地元に残すための受け皿が必要 (進学先、就職先)
 - ・ 一度、外に出たら帰ってこない

②松山を若者にとって「魅力あるまち」「住み続けたいまち」に変えるためのアイデア

「明るくて安全に歩けるまち」「自転車にやさしいまち」「進学・就職で若者がいつづけられるまち」の3つに重点を絞って話し合いました。

「明るくて安全に歩けるまち」については、女性や子どもが夜道を歩く時に不安を感じるので、街灯を増やして明るくて安全に歩けるまちにしたいと思います。また、現在、町内会の組織を強化しているということですので、「見守り隊」のような活動に力を入れてほしいと思います。



「自転車にやさしいまち」では、現在は有料の駐輪場の方が多いため、無料の駐輪場を増やしてほしいと思います。また、自分自身にも言えることですが、高校生の自転車マナーが悪いと思います。学校からもよく注意されますが、もっと強く呼びかけたり、警察によるパトロールを増やすことで、自転車のマナーに対する意識を向上し、安全なまちにしていきたいと思います。自転車専用のレーンを設けて、歩行者と自転車を区分すれば、自転車のマナーが少々悪くても、歩行者が安全に歩けるまちになると思います。

「進学・就職」については、現在は、進学にしても就職にしても、若者は県外に出ていく人が少なくないため、それをどうにかしようと思いましたが、進学については、専門的な知識を学ぶためには、県外に出ていくしかないため、県内で進学できるようにしていくべきという話が出ました。また、就職については、私は建築分野を志望していますが、建築については県内でも就職先がありません。建築は企業と学校との結びつきは強いのですが、不景気の影響もあって雇用できないのが現状です。雇用に対する行政の支援がもっとあればと思います。

【明るくて安全に歩けるまち】

【現状】

- ・女性や子どもが夜道を歩く時に不安を感じる

【取り組み】

- ◎街灯を増やす
- ◎「見守り隊」的な活動 →親が当番で見まわり
- ◎町内会組織強化 →道後は組織が大きいですが、他地域は青年団も少ない役割を担うことで、青年も活性化される

【自転車にやさしいまち】

【現状】

- ・松山は自転車の利用が多い（市民、観光客）
- ・マナーが悪い（音楽プレイヤーを聴きながら運転など）

【取り組み】

- ◎自転車マナーの向上 →強く取り締まる（警察のパトロールを多くして意識づけ）呼びかけをもっと強く→マナー向上を呼びかける文書を回覧板でまわす
- ◎駐輪場の整備（増） →無料のところを多くする
- ◎自転車専用レーンの整備

【進学・就職→若者がいつづけられるまち】

【現状】

- ・県外に出て行くしかないのが現状

【取り組み】

- ◎松山に今ない業種の企業を誘致する →その業種を専門とする学校ができる
- ◎学校と企業がもっと強く連携して就職情報を交換する（求人があってもわからない）
- ◎企業の雇用に対する行政支援を
- ◎水準の高い企業や病院等を増やす

【市長からのコメント】

- ◎学校の授業で習ったと思いますが、地方交付税交付金や国庫支出金という形で、国から地方におりてくるお金があります。しかし、国の借金はおおよそ1千兆円にまで膨らんでいます。1億人の人口で割り算をすると、一人当たりの借金の額はとても恐ろしい数字になります。ここまで借金が膨らむ前に、誰か止めることができなかつたのかと思います。
- ◎松山市の歳出で一番大きな割合を占めるのが民生費です。いわゆる福祉にかかるお金です。これが歳出の40%を占めています。中四国の中では、松山市は徳島県の阿南市に次いで、2番目に財政状態が良いと言われていています。しかし、前年度から今年度にかけての1年間で、民生費が50億円も増えました。そのうち、生活保護費が20億円増えました。財政の規模を膨ませることができる状況ではないので、20億円の歳出が増えると、どこかで20億円を削らなければなりません。地方の町長や市長たちは、そういう財政の中で色々と工夫をしながら取り組んでいかなくてはなりません。高度経済成長の時代であれば税収も増え、日本の経済もどんどんよくなるからよかつたのですが、そういう時代ではなくなってしまったという現状があります。
- ◎今の発表の中にもありましたが、マナーの向上で対応できることについては、マナーの向上で対応してほしいと思います。カーブミラーをたくさん設置できるとよいかも知れませんが、「塵も積もれば山となる」です。カーブミラー1つではあまり大きな金額でなくても、松山市全体となると、とても大きな金額になります。ある地区に整備すると、他の地区から整備してほしいという要望が出てきて、万べんなく整備しなくてはならなくなってしまうます。したがって、マナーで対応できることは、マナーで対応してほしいと思います。マナーで対応することができれば、お金が節約できて、他のことに使うことができるようになります。
- ◎今、首長がしなければいけないことは「選択と集中」だと考えています。今、何をすべきかを選択しなければなりません。駐輪問題については、お金の使い方を組み替えなければいけない時期に来ていると思っています。
- ◎厳しい財政の現状を説明しましたが、皆さんは委縮しないでください。委縮するとアイデアが出てこなくなってしまうます。乱暴な言い方ですが、まちづくりを変えていくのは、「若者」「よそ者」「ばか者」と言います。「若者」とは正に皆さんのことです。「よそ者」とは、よそから来た人の見方のことです。そして、「ばか者」とは突飛な発想ができる人のことです。ですから、皆さんには委縮してほしくないと思います。若い人の意見を求めています。

(3) 大学生A班

①松山の「好きなところ」「なんとかしたいところ」

松山の良いところとしては、まちの雰囲気が良いことがあげられます。ロープウェイ街や道後の商店街は古い街並みでよい雰囲気を出していると思います。また、コミセンにあるプールや、堀之内の広い公園、美術館などいろいろな設備が整っていることも良いところだと思います。そして、一番の良いところとしてあげられたのが「コンパクトなまち」ということです。大街道や銀天街に行くと、食事や遊びが一箇所です。



しかし、「コンパクトなまち」であるが故の課題も多くあります。例えば、障がい者が車いすで入れるトイレはほとんどなく、三越などの大きな店にしかありません。堀之内に大きな公園がありますが、規制が多く、運動などには使いにくいです。一番の課題は皆さんも言われているように、自転車の交通安全のことです。「自転車が多い」「道が狭い」という意見がありました。「道が狭い」「自転車が多い」というのは、コンパクトなまちであるからこそ起こる問題であり、ギュッと固まるから人がそこに集中し、自転車が溜まってしまいます。

そこで、この自転車が多いことを解消し、「コンパクトなまち」の長所を伸ばすともっといいまちになるのではないかと考えました。よそから観光で来た人が観光しやすく、住んでいる人も、よそから来た人も「いいまちだな、景観がいいな、きれいなまちだな」と思えるにはどうすればいいかということを考えました。

【好きなところ】

- ◇まちの雰囲気
 - ・のんびりした人や街並み
 - ・路面電車の雰囲気がいい
 - ・夜景がきれい
 - ・自然が近い
 - ・散歩コースがある
- ◇施設が整備されている
 - ・展覧会が開かれる
 - ・コミュニティセンターでの作品展示
 - ・いろんなイベントが開催
 - ・附属中学校の講堂
 - ・地域の人々の美術作品展
 - ・道後の足湯
 - ・図書館で自習ができる
 - ・松山城・城山公園
- ◇コンパクトなまち
 - ・自転車や徒歩で生活できる
 - ・街の規模がコンパクト
 - ・買い物や食事を一箇所です済ませられる
 - ・終電を意識しなくてよい
 - ・電車があり通学しやすい

【何とかしたいところ】

- ◆交通
[安全]
 - ・道が狭い
 - ・無料駐輪場が少ない
 - ・自転車専用道路が危ない
 - ・線路脇に柵の設置を(鉄砲町駅付近)
 - ・放置自転車が多い
 - ・標識が小さい
 - ・自転車の交通マナー
- [アクセス]
 - ・空港へのアクセス
 - ・空港の設備
- ◆観光
 - ・リピーターが少ない
 - ・喜ばれるお土産、名産がない
 - ・道後やロープウェイ街以外の場所がゴミゴミとしている
- ◆施設
 - ・バリアフリーが不完全
 - ・まちなかで若い人が集まれるようなミーティングルームが少ない
 - ・障がい者用トイレがない
- ◆インフラ
 - ・下水道が通っていない
 - ・水はけが悪い
 - ・ネットインフラ
- ◆商店
 - ・大規模店舗の跡地
 - ・商店街に活気がない(シャッター通りが多い)
 - ・柳井町商店街の空スペース
- ◆娯楽
 - ・遊ぶ場が少ない
 - ・飲食店が少ない
 - ・堀之内の利用の仕方(もっとうまく使えるはず)
 - ・学生の遊べる繁華街が少ない
 - ・公園にサッカーゴールと野球のバックネットがほしい

②松山を若者にとって「魅力あるまち」「住み続けたいまち」に変えるためのアイデア

「お接待の心あふれるアットホームなまち」というのが、今後の松山にとって、大事なキーワードになるのではないかと思います。私は県外出身のため、「お接待」という言葉を初めて聞いた時、何を言っているのかが分かりませんでした。こういうキーワードがあるということをもっともっと前に出して良いのではないかと思います。

先程の発表にもあったように、自転車が松山にとっては非常に大事なポイントだと思います。自転車は、住んでいる人だけではなく、観光客にも使われています。市内のほとんどのホテルや施設には無料で利用できる貸し自転車があります。松山の観光にとって自転車は非常に大切です。そのため、駐輪場のことを知っていただく必要があると思います。大街道の入口や銀天街にサイクルサポーターの方々がおられますが、無料で駐輪することができる駐輪券を配布したり、松山市駅にしっかりとした看板を立てて、駐輪場を案内するといったことが考えられます。

また、駐輪場の数を増やして、自転車を収容できるようにする必要があります。突飛なアイデアかもしれませんが、例えば大街道の地下を掘って、そこを駐輪場として整備することが考えられます。地下に空間を整備することで、大雨や津波などの災害の時に、防災施設としても活用できるのではないのでしょうか。

さらに、情報発信という面では、松山にはコミュニティFMがありません。また、今はスマートフォンを持っている方が多いと思うので、スマートフォン向けに市の広報を流し込むことが考えられます。GPSの機能を活用して、最寄りの情報を自動的に送り込むことも考えられます。さらには、インターチェンジの活用も考えられます。今はETCの利用が増えてきていますが、料金所で、「ぜひ、ここを回ってくださいね」と声をかけて観光パンフレットを渡すと効果があると思います。

「お接待の心あふれるアットホームなまち」にするために、自転車という視点から、観光産業や他の生活産業すべてひっくるめて、これをすればいいのではないかと提言させていただきました。



【お接待の心あふれるアットホームなまち】

<景観>

[認知]

- ・無料の駐輪券を人が配る
(サイクルサポーター)
- ・松山の人に駐輪場の場所を知ってもらう
- ・駐輪禁止の看板を使って駐輪場の場所を案内する
- ・不法駐輪の回収場所を駐輪場にする
- ・市駅前など人通りの多い所に看板を立てる

[駐輪場の整備]

- ・大街道の地下を活用
- ・24hの駐輪場
- ・施設などの近くに駐輪場を作る
- ・小さな駐輪場をこまめに設置
- ・歩いて5分以内

<情報発信>

- ・コミュニティFMを使って情報発信
- ・スマートフォンなどを使って市の広報を行う
- ・観光マップをいろんな所で配る
- ・IC料金所で交通マップを配る

【市長からのコメント】

- ◎ご提案のあった障がい者用のトイレについては、大街道に整備する予定で、平成 24 年 3 月末に完成します。商店街を利用した保育事業を実施しますが、あわせて、まちなかを元気にするためのイベントスペースをつくります。託児事業もします。
- ◎「お接待」についてのご提案はまさにその通りだと思います。四国には 95 の市町村がありますが、四国八十八カ所の札所が 1 つもない市町村もあります。四国で一番多く札所がある市町村が松山市です。松山市には札所が 8 カ所もあります。松山はお遍路さんがよく来られる場所であり、お遍路さんの姿をよく見かけるまちでもあります。したがって、四国の中でも松山はお接待の場所が一番満ち溢れた場所でなければいけないし、優しいまちでないといけないという思いをもっています。皆さんと想いは一緒です。
- ◎パーフェクトな制度というものは絶対にありません。パーフェクトな人間というのもしません。ですから、意見を言っていただくということは大事なことだと思っています。その際、建設的な意見を言っていただくことが大事です。中傷や批判からは何も生まれません。建設的、前向きな意見を言っていただくことが大事です。我々、市役所側においては、耳を傾ける姿勢を持ち続けることが大事だと思っています。

(4) 大学生B班

①松山の「好きなところ」「なんとかしたいところ」

松山市の良いところは、「自転車でどこへでも行ける」ことです。自転車でどこへでも行けて、家の近くにも娯楽施設があります。ですが、自転車でどこへでも行けるということは、歩行者・自転車・自動車などがどうしても道に広がってしまう。それで、道がぐちゃぐちゃになってしまいます。「危ないぞ、ひかれるんじゃないの」という光景をよく目にします。舗装されていないガタガタの道が多く、自転車は安全に走りにくいです。駐輪場も少なく、わかりにくいです。



県外から受験生が来られる場合、三津浜や高浜に船が着きますが、玄関口から中心部にかけてシャッター街でお店が少なく、寂しい雰囲気になっています。受験生が「松山ってどんなところなんだろう」と心躍らせてきても、「なんだこれは」となり、松山市のイメージダウンになってしまうのではないのでしょうか。そうならないように、玄関口に娯楽施設が整備されるとよいと思います。

中心部ではイベントが多いと思います。野球やファッションショーをしていたこともありました。イベントは多いのですが、お祭りについては、怖い人が多く、一部の人たちが盛り上がっているため行きにくいという意見がありました。車いすの友人がいますが、その友達も「お祭りに行きたいが、怖い人がいて行けない」と悲しいことを言っていました。車いすの人もお祭りに参加できる機会があれば良いと思います。

【好きなところ】

- ◇災害がない
- ◇温暖である
- ◇ほどよく都会
- ◇自転車ですべてどこでも行ける
- ◇家の近くに娯楽施設
ゲームセンター
飲み屋
カラオケ
- ◇ショッピング
ファッション (洋服)
→大街道、銀天街、百貨店
- ◇道後温泉
足湯、アニメグッズ
- ◇イベントが多い、野球
大街道で
ファッションショー
- ◇堀之内公園 (芝生)

【何とかしたいところ】

- ◆愛媛企業はもっと学生にアピールして
(知らないから県外へ流れるのでは?)
- ◆松山の人是一時停止しない
- ◆歩行者、自転車、自動車がぐちゃぐちゃ
- ◆自転車で安全に走りたい (ハード面) + マナー
- ◆駐輪場がない、わかりにくい
- ◆観光客の駐車場が少ない (ロープウェイ街)
- ◆中心部 (自転車でいけるところ) 以外がさびれる
→郊外に何があるか知らない
- ◆三津浜 高浜
玄関口から中心部にかけてさびしい。
受験生が初めて出会う松山→イメージダウン
- ◆鹿島の自然は良いが、店がない
→近くにケーキ屋、お好み焼屋があるが
知られていない
(来年夏に施設オープン
→地元学生が行きたくなるまちに！)
- ◆あやしい店 (道後などにあり)
- ◆野球場やサッカー場が遠い
- ◆お祭りに行きづらい
一部の人で盛り上がっている
- ◆イルミネーションさびしい 情報が無い！！

②松山を若者にとって「魅力あるまち」「住み続けたいまち」に変えるためのアイデア

私たちのまちで提言する松山市の姿は、「やりたいことが見つかる松山！」です。

提案の1つ目は「学生はもっと動きたい！」です。学生はいろいろと動きたい。このようなまちづくりの提案機会やボランティア、発表会、演奏会などがあると良いと思います。そのため、発表のための場所を少しでも安く貸してもらえると良いと思います。

2つ目は「松山をもっと知りたい！」です。この班で話していて、「へえそうだったんだ」ということがたくさんありました。三津浜など、とっても良いところがあるのに僕たちは知らない。それを僕たちにもっと教えてほしいと思います。そうすれば、僕たちも「行ってみようかな」「デートで行ってみようかな」「あの子を誘ってみようかな」ということを考えるかもしれません。

3つ目は「松山で働きたい！」です。僕たちが就職活動をする時に、行けるのは自転車で通える範囲です。電車でもそれほど遠くない範囲に限られてしまいます。2千円、3千円かけてまで遠くの説明会へ行くことには気がひけます。会社の説明会に参加する際に、少しでも補助制度があると、中小企業や、仕事を求める若者にとって、よりよい形になるのではないのでしょうか。活動できる場やチャンス。これが一番大事です。

自転車も大事なテーマです。自転車で動きやすくすることが必要です。先ほどの提案にあったような地下の駐輪場の整備なども進めていただければと思います。

私たちに足りないものは、「情報」と「機会」と「場所」です。いろいろな情報を聞いて、「こんなものがあるのか」と気付きます。「こういうことができる場所があるんだ」「こういうことができる機会があるんだ」ということがあって初めて、私たちは積極的に活動することができます。このようなまちづくりのために協力する機会をいただく、それも情報であり、場所であり、機会です。「私たち学生が積極的に参加できる」まちが一番望ましいのではないかと思います。



【やりたいことが見つかる松山！】

◎学生はもっと動きたい！

・学んだことを活かせるボランティア

- (例) 障がい者の外出支援
大学で要約筆記
→ 授業にボランティアを取れ入れては
- ボランティアというより
「したいことをしているだけ」

・発表会

- 会場費を安くする
- 学生が集まる → 飲食で経済効果も

・まちづくりの提案

◎松山をもっと知りたい！

- ・イベント情報、スポット情報
→ 夕方のニュースで知ることもある
- ・フェイスブック、ツイッターの活用

◎松山で働きたい！

- ・企業を知りたい → 中小企業はPRを
- ・交通費がネック → 就職活動の交通費支援を

◎やりたいことをしたい！

- ・活動する場、チャンス
- ・学んだことを活かしたい
- ・時間はある
- ・自転車で動きやすく（駐輪場の整備も）

◎鹿島活性化プロジェクト

- ・聖カタリナ大学の参加を

【市長からのコメント】

- ◎「発表の場が欲しい」という提案がありましたが、私の思いも同じです。坊っちゃんスタジアムやマドンナスタジアムは人気が集中して、なかなか予約が取れないような状況です。一方で、あまり利用されていない公共施設もあります。あまり利用されていない施設については、PR不足や制約の多さなどの課題があるのかもしれませんが。原因を調べるように指示したこともあります。こういった施設をもっともっと使っていただけるようにしたいと思います。
- ◎うまくいかないことについては経緯があります。色々なことを模索し、実行した結果、行き詰っているということがあります。そこで、「組み替え」が必要になるのではないかと思います。「組み替え」をするためには新しい発想が必要になります。私のように民間出身者が市役所に入ることによって、いろいろな「組み替え」を進めていくことができるのではないかと思います。皆さんのような若者の発想が、組み替えていくことにつながっていくと思います。財政状況が厳しいというお話をしましたが、皆さんには建設的な意見をもってください、様々な活動を行ってほしいと思います。大変参考になりました。

3. おわりに

■市長からのコメント

本日いただいた、貴重な意見・アイデアは、次期総合計画に活かしていきたいと思えます。

皆さんはこれまで、松山市が「どの方向を向いているか」「これからどういう方向を向いていくのか」ということを、あまり日常生活で考えたことはなかったと思えます。ですから、この機会は、皆さんにとっても良い機会になればと思えます。

皆さんの中には、進学や就職で一時松山を離れる人もいます。その中で、色々なことを吸収していただいて、できれば、また、松山に帰ってきていただけたらと思えます。

松山を離れたとしても、今は情報を集めるための色々なツールがあります。すっかり松山と離れてしまうというわけではないので、いろいろなツールで情報を集めていただいて、また、松山のまちづくりに参加していただければと思えます。

今日は貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。



参加者名簿

(敬称略)

班	氏名	高校・大学名	学年
高校生A班 (7名)	宇根田 茉歩	愛媛大学附属高等学校	3年
	片井 媛貴	松山東雲高等学校	2年
	重松 祐介	新田高等学校	3年
	田井 理紗	愛媛県立松山東高等学校	1年
	原 沙緒里	新田青雲中等教育学校	4年(高1)
	藤原 勇輝	松山聖陵高等学校	2年
	山崎 奨浩	愛媛県立北条高等学校	3年
高校生B班 (7名)	池川 眞之	済美平成中等教育学校	5年(高2)
	梅本 葉月	愛媛大学附属高等学校	3年
	亀田 若菜	愛媛県立松山中央高等学校	2年
	仙波 太基	済美高等学校	2年
	三上 あずさ	松山城南高等学校	2年
	三原 尚子	聖カタリナ女子高等学校	3年
	吉金 幸輝	愛媛県立松山工業高等学校	3年
大学生A班 (8名)	赤松 洋輝	愛媛大学	4年
	上田 綾子	愛媛大学	3年
	萩山 嘉浩	聖カタリナ大学	3年
	越智 友里恵	松山東雲女子大学	3年
	黒田 友貴	愛媛大学	3年
	寺澤 通洋	愛媛大学	1年
	中矢 貴久	松山大学	6年
	長山 香奈	愛媛大学	4年
大学生B班 (8名)	東 賢吾	愛媛大学	3年
	加藤 克幸	聖カタリナ大学	2年
	三宮 洋太	愛媛大学	4年
	土居 霞	松山東雲女子大学	3年
	永井 紀衣	愛媛大学	4年
	平井 由香里	松山東雲短期大学	2年
	福永 憲史	松山大学	2年
	山中 健一	愛媛大学	2年

■市長と語る若者会議 ～若者に魅力ある松山にするために～

第6次松山市総合計画の策定に向けて

作成：松山市総合政策部企画政策課

〒790-8571 愛媛県松山市二番町四丁目7-2

電話 (089) 948-6341・6943 FAX (089) 934-1804

電子メール sougoukeikaku@city.matsuyama.ehime.jp